



テクニカル・メッセージ

ブレーキペダルの点検に関するお願い

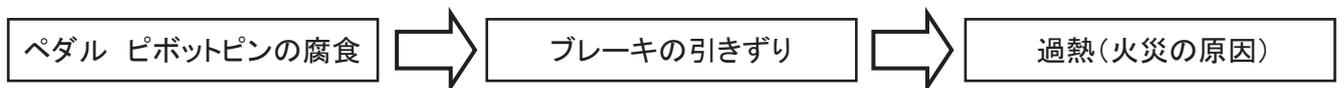
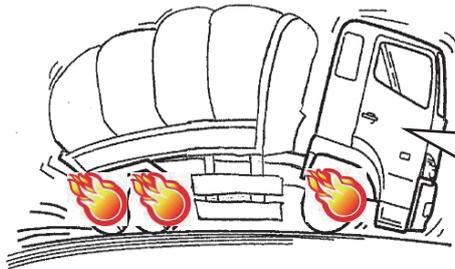
ブレーキペダルの戻り不良による「火災」事故防止のためのブレーキペダルの点検に関するお願いについては、日本自動車工業会・国土交通省ホームページ等で2014年8月にもお知らせしていますが、その後も同様な火災事例が発生していることから確実な点検整備を実施いただけるよう、改めて要領をご案内いたします。なお、加速感や力がなくなったと感じたときや、惰行時にブレーキがかかったように感じるときは、ブレーキの戻り不良(引きずり)が発生している可能性があります。

このような場合は、速やかに運行を停止し、日野販売会社または整備会社にご連絡ください。特に、運転席に乗車の際、泥や雨水等を持ち込む機会が多い使い方や車両を長期間ご使用いただいている場合は、ブレーキペダルに錆が進行することがあります。このため、ブレーキペダルの確実な点検と整備の実施をお願いいたします。

1. 対象車両

大中型トラック・バス全車 オルガン式ブレーキペダル車(※)特に長期使用車
 ※足下の床面にブレーキペダルが取り付けられ、ペダル下部にピボットピン(支点)があるタイプ

2. ブレーキペダルの錆に起因する事象



注)ペダル周辺部に錆が見られる場合は、交換が必要なため、速やかに日野販売会社または整備会社にご連絡ください。

3. ブレーキペダル点検のお願い

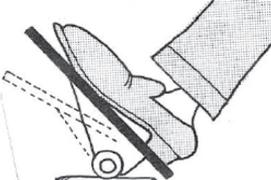
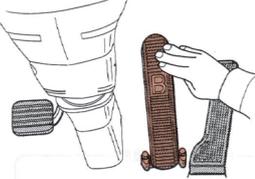
ブレーキペダルに関する法定点検内容を以下に示します。

ブレーキ関係の点検整備方式

点検項目		点検整備時期		
点検箇所	点検内容	日常点検	3ヶ月 6ヶ月	12ヶ月
ブレーキペダル	遊び及び踏み込んだときのすき間	●	●	●
	ブレーキの効き具合	●	●	●
	ブレーキペダルを踏み込んで離れた場合にブレーキ・バルブからの排気音が正常であること。	●		

これらの整備点検方式の内容に加え、以下に示す点検・整備をお願いいたします。

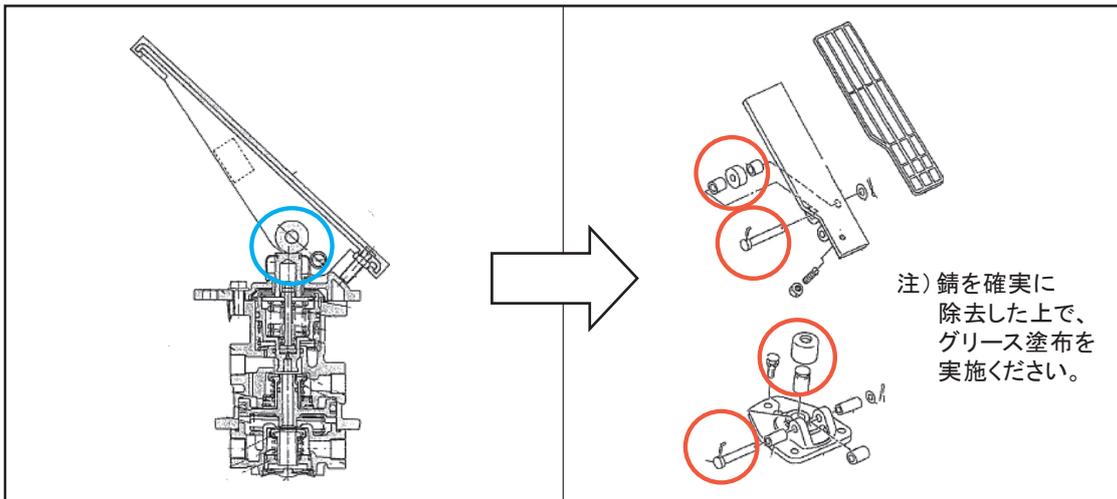
①日常(運行前)点検

ブレーキペダルの戻り点検	
	ブレーキペダルを一杯に踏み込み、ゆっくり戻したときに、途中でペダルに引っかかりがないことを確認ください。
	更に、ブレーキペダルを一杯に手で押した後、手でいきなり離れたときに、ペダルが元の位置に戻るかを確認ください。

②定期的なペダルの点検のお願い

・ペダルのピボットピン(下図参照)へグリースの塗布をお願いいたします。

【使用グリース:バリエントグリースS1(昭和シェル石油製)】



- ・泥・砂などの異物の有無やピボットピン部の腐食・渋りがないかを点検ください。
- ・必要に応じ、関連部品等の交換をお願いいたします。

オルガン式ブレーキペダルを使用しているトラックは、全て13年以上経過した車両となります。車検整備時には、当該部の分解整備、グリースの塗布の実施を推奨します。その際は、日野販売会社または整備会社にご相談ください。